

# 東海地震など 大規模地震に備えて



～「自分の身は自分で守る」～  
地震の備えはできていますか

安全安心課 ☎66♦1156

「明日起こっても不思議ではない」と言われる東海地震。もし起これば渥美半島から四国にかけての広い範囲で東南海地震、南海地震と呼ばれる2つの地震が発生する可能性があると言われて

います。  
たとえ地震の前兆現象がとらえられ予知できたとしても、大地震に対する備えを万全にしていなければ、せっかくの予知情報も生かされません。また、地震が起きたときの対応が生死に関わるような重大な結果を招くかもしれません。

## 家庭や地域でできる 日ごろの備え

### ◎まずはわが家の備え

防災の基本は個人や家庭の防災対策から始まります。災害が起きたとき、まず自分が助かることが基本です。自分が助かってこそ家族を守ることができます。そのためには、常日ごろからの防災対策が大切です。

### (1) 家屋の倒壊から身を守るために ① 耐震診断による耐震性の確認を

蒲郡市では、木造の在来工法により昭和56年5月31日以前に建

築された住宅を対象に、無料耐震診断を行っています。

② 耐震性のない場合は、耐震補強を行う

蒲郡市では、一定の条件を満たすと、最高60万円まで、耐震改修費を補助します。

### (2) ケガをしないために

① 家具類の転倒・移動・落下防止  
重いものは高いところに置かない。

### ② ガラスの破壊・飛散防止

窓ガラスに飛散防止フィルムを張り付けましょう。

### ③ 家の周囲の安全

塀の安全点検をして、瓦やテレビアンテナなどを固定しましょう。

### (3) 火事を出さないために

地震が起こった時のとっさの火の始末、消火器など消火用具の



備えをしましょう。

### (4) 避難するときのために

一時避難や避難生活に備えて、日用品・食料など(非常持ち出し品)を準備しましょう。

### (5) 暮らしを維持するために

災害後、ライフラインが途絶えたときのことを考え、最低3日間を目安に飲料水、食料、燃料、日用品などを備蓄しましょう。

### (6) 情報を得るために

安全を確保するため、ラジオ、防災無線の放送や広報車によるお知らせをよく聞きましょう。

### ◎「向こう三軒両隣」からはじめる地域の備え

予想される東海地震などの大規模災害時においては、地震の揺れにより家屋の倒壊、道路・橋梁などの損壊、通信の途絶などが予測され、消防、警察、自衛隊などの防災関係機関の能力を十分発揮できない事態、あるいはその防災能力を上回る被害も考えられます。

このような時、安全が確保された身近にいる人たちが助け合うことができます。災害時における助け合いは、日ごろの隣近所の付き合いの中で災害の備え、消火活動や